



奈良県立高等技術専門校

平成31年度 職業訓練生募集案内



ITシステム科



家具工芸科



建築科



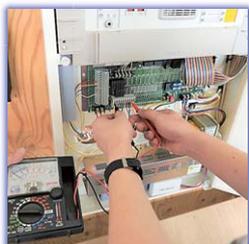
住宅設備科



服飾ビジネス科



オフィスビジネス科



ビルメンテナンス科



造園技術科



販売実務科

ITシステム科

ビルメンテナンス科

家具工芸科

造園技術科

建築科

販売実務科

住宅設備科

服飾ビジネス科

オフィスビジネス科

目次

奈良県立高等技術専門校について 1

ITシステム科、家具工芸科、建築科、住宅設備科、
服飾ビジネス科、オフィスビジネス科、ビルメンテナンス科、
造園技術科（販売実務科を除く全科）

応募要領 3

各科紹介 7

販売実務科（知的障害のある方を対象とした科）

応募要領 販売実務科 15

販売実務科紹介 17

修了生活動紹介と訓練の流れ 18

中綴じ：入校選考応募書類

奈良県立高等技術専門学校について

奈良県立高等技術専門学校は、学校を卒業し新たに職業に就かれる方や、再就職を希望される方が、職業に必要な技能・知識を学ぶ、職業能力開発促進法に基づく公共職業能力開発施設です。

1 募集科一覧

一般の方を対象とした科		定員・訓練期間・訓練時間等
募集科	対象	
ITシステム科	高等学校卒業程度の学力を有する求職者	●募集定員：各科 20 名 ●訓練期間：各科 1 年間 [入校式] 平成 3 1 年 4 月 5 日 (金)) [修了式] 平成 3 2 年 3 月 2 4 日 (火) ●訓練時間：8 時 4 5 分～1 6 時 1 0 分 ●休校日： [夏季休校日] 7 月下旬～8 月中旬 [冬季休校日] 1 2 月下旬～1 月初旬 土・日・祝日、創立記念日 他
家具工芸科	高等学校卒業程度の学力を有する求職者及び起業を志している方	
建築科	中学校卒業程度の学力を有する求職者	
住宅設備科	中学校卒業程度の学力を有する求職者	
服飾ビジネス科	中学校卒業程度の学力を有する求職者	
オフィスビジネス科	中学校卒業程度の学力を有する求職者	
ビルメンテナンス科	中学校卒業程度の学力を有するおおむね 3 5 歳以上の求職者	
造園技術科	中学校卒業程度の学力を有する求職者	
知的障害のある方を対象とした科		
募集科	対象	
販売実務科	詳細は 1 5 ページ「2 応募要件」を参照	

2 入校の対象となる方

(1) 一般求職者

就職を希望される方。

(平成 3 1 年 3 月までに離退職予定で、再就職を希望される方。同じく、平成 3 1 年 3 月までに大学や専門学校を卒業・退校予定で、就職を希望される方なども対象となります。)

必ず事前に、居住地を管轄するハローワーク（県内は裏表紙参照）で職業相談を受けて、応募についての指示に従ってください。

(2) 新規学卒者

平成 3 1 年 3 月に中学校、高等学校、または特別支援学校を卒業予定の方。

(大学や専門学校を卒業予定の方は上記「一般求職者」になります。)

(3) 知的障害のある方（販売実務科）

本校には、知的障害のある求職者向けの職業訓練コース（販売実務科）があります。上記「一般求職者」や「新規学卒者」の方で、療育手帳（もしくは障害者職業センター所長が発行する判定書）をお持ちの方が対象となります。（詳しくは、1 5～1 6 ページを参照）

※注意：以降の記載で、入校の対象となる方について、「一般求職者」、「新規学卒者」、「知的障害のある方」とします。

3 就職について

本校はハローワーク（公共職業安定所）と密接に連携しています。さらに、就職支援専任の職員が企業訪問
他独自の情報収集を行い、皆さんの希望・技能・適性などから求人求職のマッチングを行うなど、職業訓練期
間を通して就職活動のお手伝いをします。休憩時間中に気軽に、就職支援室で情報収集や相談などもできます。
昨年度の就職率は全体で9割を超えています。

※支援メニュー

- 個別相談（ジョブカード作成支援、応募書類の書き方 他）
- 求人情報の提供、職場実習、事業所見学
- 各種セミナー開催（キャリアデザイン、キャリア意識形成、
応募書類の書き方・模擬面接、起業支援 他）



4 職業訓練期間中における援護措置

- (1) ハローワーク所長の受講指示を受けて入校された方については、雇用保険の失業給付期間が延長される
などの援護措置が適用される場合があります。この場合は、必ず応募前に居住地を管轄するハローワー
ク（県内は裏表紙参照）で職業相談を受けて確認してください。
- (2) 雇用保険に加入できなかった方など、雇用保険を受給されていない方で、一定の要件を満たし、ハロー
ワーク所長の支援指示を受けて公共職業訓練を受講する方については、「求職者支援制度」による「職業
訓練受講給付金」が支給される場合があります。
※詳しくは、居住地を管轄するハローワークの窓口（県内は裏表紙参照）でお尋ねください。
- (3) 新規学卒予定（中学校、高等学校、特別支援学校）の方については、一定の要件を満たすと、「求職者
支援制度」による「職業訓練受講給付金」が支給される場合があります。
※必ず事前に学校を通じて、学校所在地を管轄するハローワークの窓口（県内は裏表紙参照）でお尋ねく
ださい。
- (4) 公共交通機関の通学定期が適用されます（一部の交通機関を除く）。

5 必要経費について

受験料、入学金、授業料は「無料」です。

ただし、職業訓練に必要な実費（教科書、教材、職業訓練生総合保険、生徒手帳、作業服、実習用具、資格
試験や講習会の手続き費用など）を負担していただきます。入校手続き日に「入校時自己負担金」として所定の
金額を一括納付していただき、本校でお預かりのうえ、一括購入・支払いをさせていただきます。

詳細は6ページ（販売実務科は16ページ）を参照してください。

応募要領 一般の方を対象とした科 (販売実務科を除く全科)

- ITシステム科 ○家具工芸科 ○建築科 ○住宅設備科 ○服飾ビジネス科
○オフィスビジネス科 ○ビルメンテナンス科 ○造園技術科

1 応募、選考などの日程について (平成31年1月~3月)

	第1回募集	第2回募集	第3回募集
募集科(※1)	販売実務科を除く全科	(注)	(注)
応募書類受付期間(※2)	1月4日(金) ~ 1月31日(木)	2月7日(木) ~ 2月20日(水)	2月28日(木) ~ 3月14日(木)
一般職業適性検査(※3)	2月6日(水)	2月25日(月) 午前	3月19日(火) 午前
面接(※3)	2月14日(木) または15日(金)	2月25日(月) 午後	3月19日(火) 午後
合格発表(※4)	2月22日(金)	2月28日(木)	3月25日(月)
入校手続き(※5)	2月27日(水)	3月8日(金)	3月28日(木)

注：第1回募集以降、定員の充足状況により、第2回・第3回募集を実施しない科もあります。

募集科・日程についての最新の情報は、県内ハローワーク窓口や本校ホームページでご確認ください。

※1：募集科の詳細は7ページ以降に記載しています。

※2：応募についての詳細は、次の4ページ「3 応募の流れ」に記載しています。

※3：一般職業適性検査・面接の時間の詳細については、5ページ「4 入校選考について」に記載しています。

※4：合格発表についての詳細は、6ページ「5 合格発表について」に記載しています。

※5：入校手続きについての詳細は、6ページ「6 入校手続きについて」に記載しています。

2 施設見学会の開催

本校が実施する職業訓練の内容についてご理解いただくため、施設見学会を開催します。

施設見学会では、全体説明、応募を検討中の科の見学(2科まで見学可能)、および、担当指導員の説明を行います。個別に相談や質問をすることも可能です。事前申込不要ですのでお気軽にお越しください。

以下の日程で、各日、午後1時30分から開始します。時間までに本館玄関で受付を済ませてください。

平成30年11月	28日(水)
12月	5日(水)、12日(水)、19日(水)
平成31年1月	9日(水)、16日(水)、23日(水)、30日(水)
2月~3月	2月13日(水)、3月6日(水)

※上記以外、事前に電話で、見学可能な日時をお問い合わせの上お越しいただくことも可能です。

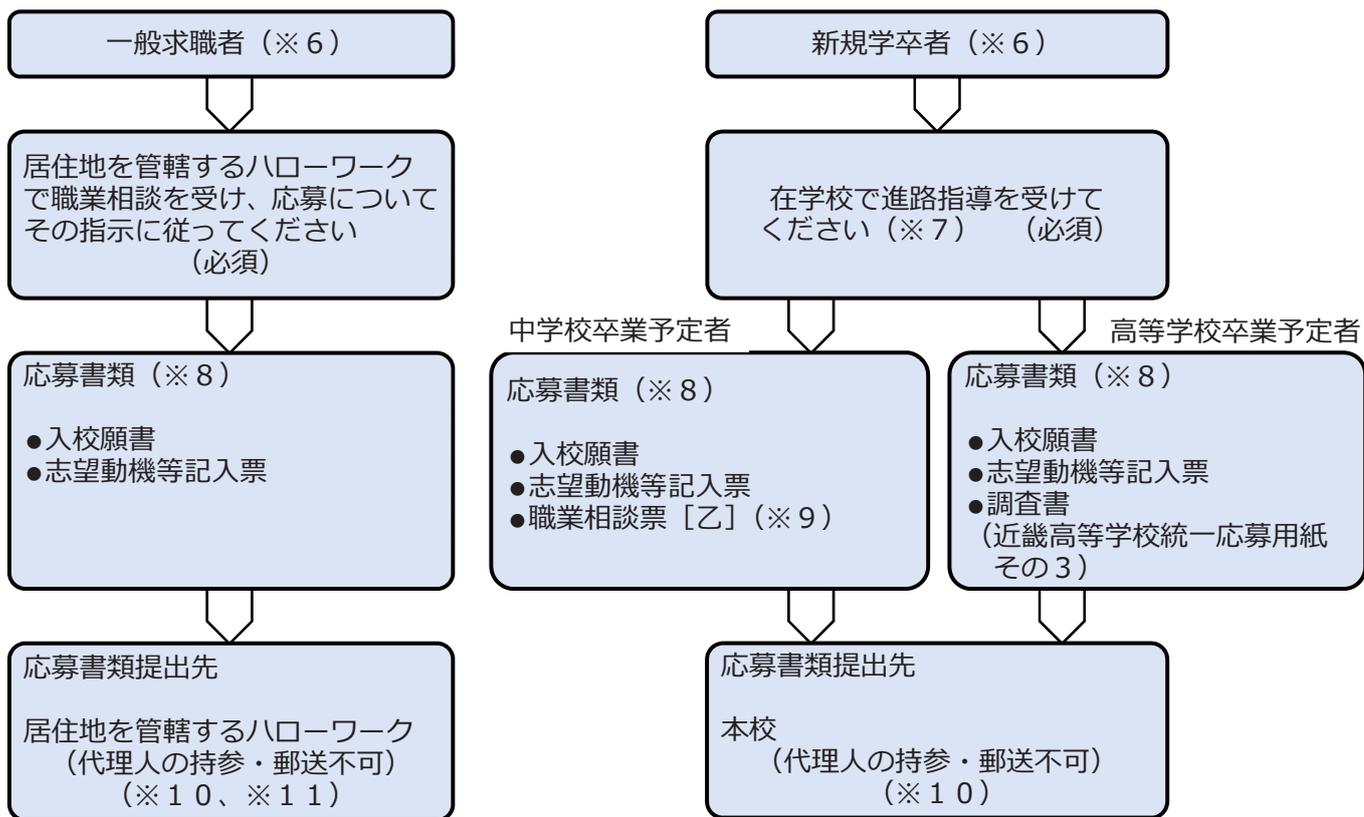
応募要領

一般の方を対象とした科

(販売実務科を除く全科)

- ITシステム科 ○家具工芸科 ○建築科 ○住宅設備科 ○服飾ビジネス科
○オフィスビジネス科 ○ビルメンテナンス科 ○造園技術科

3 応募の流れ



※6：1 ページ、「2 入校の対象となる方」を参照してください。

※7：2 ページ、「4 職業訓練期間中における援護措置 (3)」の要件を満たすかどうかの確認は、在 school の進路指導担当の先生経由でハローワークに依頼してください。

※8：「入校願書」及び「志望動機等記入票」は、本パンフレット添付のもの、または、本校ホームページに掲載しているPDF ファイルをダウンロードしA4 コピー用紙に両面印刷したもの、どちらを使用しても結構です。また、入校選考時に障害による合理的配慮を必要とされる方はお申し出ください。

※9：中学校卒業予定者用応募書類「職業相談票[乙]」の様式は厚生労働省の次の URL に掲載しています。

<https://www.mhlw.go.jp/www2/topics/topics/saiyo/dl/saiyo-04.pdf>

職業相談票[乙]様式下欄の安定所記載欄、担当者印、安定所の受付番号、受付印は記載不要です。

※10：応募書類は、ご本人が提出先に持参してください (代理人の持参及び郵送は受理しません)。受付窓口で「入校願書受付票」をお渡ししますので、大切に保管し入校選考当日に持参してください。受付時間は、平日の午前 8 時 45 分～午後 5 時 00 分です。

※11：奈良県外のハローワーク職員の皆様へ (お願い)

- ・お手数をおかけ致しますが、応募書類の受理と引き換えに、入校願書下部の「入校願書受付票」を、受付印 (貴安定所名と受理日付がわかるもの) を押印した上で、切り離して応募者にお渡しください。
- ・受理していただいた「入校願書」と「志望動機等記入票」は、入校願書の公共職業安定所記入欄に必要事項を追記の上、特定記録郵便や簡易書留などで本校宛郵送願います。
- ・応募期間終了日間に受理された場合、郵送の遅れを考慮して、先に本校へ受理した旨の電話連絡をお願いいたします。

応募要領
 一般の方を対象とした科
 (販売実務科を除く全科)
 ○ITシステム科 ○家具工芸科 ○建築科 ○住宅設備科 ○服飾ビジネス科
 ○オフィスビジネス科 ○ビルメンテナンス科 ○造園技術科

4 入校選考について

一般職業適性検査（筆記）と面接による総合評価で可否を決定します。面接は15分程度で、知識・技能・技術の習得意欲、就労意欲、職業能力開発の必要性などについてお聞きします。なお、応募者数が募集定員より少ない場合でも、総合評価で不合格になることがあります。

(1) 一般職業適性検査・面接の日時（第1回募集）

応募された科によって、一般職業適性検査の時間が異なりますのでご注意願います。

応募科	ITシステム科、建築科、 オフィスビジネス科、ビルメンテナンス科	家具工芸科、住宅設備科、 服飾ビジネス科、造園技術科
一般職業適性検査 日時	平成31年2月6日(水) 午前10時00分～12時00分 (受付：9時30分～)	平成31年2月6日(水) 午後2時00分～4時00分 (受付：1時30分～)
面接日時	平成31年2月14日(木)、または、15日(金) 一般職業適性検査当日に、面接日と時間をお伝えします。 どちらか都合の悪い日がありましたら調整します。検査当日にお申し出ください。	

(2) 一般職業適性検査・面接の日時（第2回募集）

午前に一般職業適性検査、午後に面接を行いますので各自、昼食・飲物を持参願います。

一般職業適性検査 日時	平成31年2月25日(月) 午前10時00分～12時00分 (受付：9時30分～)
面接日時	同日、午後1時00分から順次開始

(3) 一般職業適性検査・面接の日時（第3回募集）

午前に一般職業適性検査、午後に面接を行いますので各自、昼食・飲物を持参願います。

一般職業適性検査 日時	平成31年3月19日(火) 午前10時00分～12時00分 (受付：9時30分～)
面接日時	同日、午後1時00分から順次開始

※第1回あるいは第2回募集の募集科を受験され、不合格となった方が、第3回募集の募集科を受験される場合は、午前に面接試験を行います（一般職業適性検査を受けて頂く必要はありません）。

(4) 入校選考日の持ち物

入校願書受付票（応募書類提出時、受付で手渡された入校願書の下部）、筆記用具、82円分の切手（可否通知送付用）、上履き

応募要領

一般の方を対象とした科（販売実務科を除く全科）

○ITシステム科 ○家具工芸科 ○建築科 ○住宅設備科 ○服飾ビジネス科
○オフィスビジネス科 ○ビルメンテナンス科 ○造園技術科

（5）入校選考日の注意事項

- 各回募集とも入校選考会場は**本校**です（裏表紙の地図をご確認ください）。
- 一般職業適性検査の開始時刻に遅刻された方は受験できません。失格となります。
- 一般職業適性検査では、携帯電話、電卓、計算機能付き時計などの使用を禁止します。
- 自動車、バイクなどで入校選考会場に乗り入れることを禁止します。公共交通機関を利用してください。
入校選考会場周辺は、**駐車禁止**です。
- 入校選考を辞退される方は、必ず入校選考日の前日までに本校へ電話などで連絡してください。

5 合格発表について

- 合格発表当日、合否通知書を本人宛に郵送（**郵便ポストに投函**）します。
- 合格発表当日の午後1時に、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
（これは補助的な公表手段です。必ず上記郵送による合否通知書で確認願います。）
- 新規学卒者の合否は、在学する学校にも通知します。
- 一般求職者の合否は、管轄のハローワークにも通知します。
- 電話による合否の問い合わせには、一切応じません。

6 入校手続きについて

- 入校手続きについての詳細は合格通知書に記載してお伝えします。
- 一般求職者には、合格通知書送付時に本校所定の健康診断証明書の用紙を同封します。医療機関で受診のうえ、入校手続き日に提出してください。
- 入校手続き日に作業服の採寸を行います（家具工芸科・建築科・住宅設備科・造園技術科）。
- 入校手続き日に、職業訓練に必要な実費（2ページ「5 必要経費について」参照）として、自己負担金を一括納付してください。

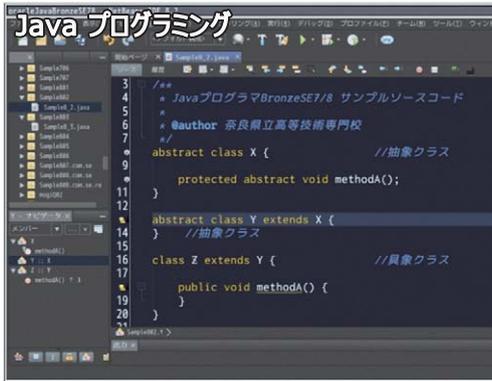
募集科	入校時自己負担金	募集科	入校時自己負担金
ITシステム科	80,000円	服飾ビジネス科	55,000円
家具工芸科	95,000円	オフィスビジネス科	55,000円
建築科	80,000円	ビルメンテナンス科	55,000円
住宅設備科	75,000円	造園技術科	80,000円

※訓練期間中、他に資格試験・講習会申し込みなどの手続き費用が追加で必要になる場合があります。

ITシステム科 (普通課程1年コース)

ITシステム科では、プログラミング、Web技術、デザインの基礎、3次元CADなどの実習と関連資格試験受験対策の授業を実施します。

若い方には、これら分野のIT技術者になることを目標として支援し、職務経歴のある方には、これらITリテラシー向上を武器としたスキルアップによる再就職を支援します。



使用教科書例



プレゼンテーション



ITシステム科実習室



カリキュラム

- 学科
ITパスポート・基本情報技術者試験対策
簿記会計
- プログラミング・Web
Java言語、HTML5/CSS、jQuery、PHP、SQL、WordPress、Linuxサーバ構築、ExcelVBA
- デザイン
PhotoShop、Illustrator、ビジネスプレゼンテーション
- 3次元CAD
SolidWorks(機械系)、ArchiCAD(建築系)

主な就職先

- IT技術者
プログラマ、Webコーダー、SE
- 企画・デザイン関連
ホームページ制作会社、商品企画
印刷会社
- 設計関連
設計会社、設計事務所
空間測量会社
- 製造業関連
社内SE、CAD設計者、営業
品質管理、事務

関連資格

専 専門校で受験、 **試** 試験対策の指導

- 基本情報技術者試験 **試**
- ITパスポート試験 **試**
- Webクリエイター能力認定試験エキスパート **専**
- Oracle Certified Java Programmer **試**
- 3次元CAD利用技術者試験
- カラーコーディネーター検定試験
- 日商簿記検定 **試**
- 技能照査(技能士補取得) **専**

家具工芸科 (普通課程1年コース)

家具工芸科は60年以上の歴史があり、修了生は木工に関する各分野で活躍しています。授業は、企業就職や工房経営を目指す方のために必要な、木工全般の知識や技術の実技訓練（家具製作、建具製作、旋盤ろくろ品、職場実習など）、専門分野学科（安全衛生教育、材料学、加工法、工作法、設計、家具デザインなど）、経営学（ビジネスプラン、初歩的な工業簿記）、および校外見学など学問的な訓練を組み合わせ、木工の専門家を育成するカリキュラムとなっています。

修了生は、日本各地の家具製造業、建具製造業および木工に関連する企業へ就職しています。

各種家具製作



木工旋盤加工 皿・カトラリーなど



和室建具 紙貼り障子製作



椅子座張り ペーパーコード座編み



カリキュラム

- 学科
木材加工法、工作法、木工機械、安全衛生材料学、家具デザイン、設計、経営学
- 実技
工具の取り扱い、加工練習、工作練習
機械操作、CAD、家具製作、建具製作
塗装、安全作業、木材乾燥
- その他
各種施設見学、木工ワークショップ実施
木工企業職場実習（インターンシップ）など

主な就職先

- 家具・建具製造
家具製造会社、木製品製造会社
建具製造会社、個人工房など
- 設計・デザイン職
設計事務所、工務店、デザイナー
木工関連企業など
- その他関連職種
林業関係、公的施設
福祉施設・作業所指導員
地域おこし協力隊、高校工芸コース教員など

関連資格

受 受験資格の取得、**専** 専門校で受験

- 技能講習 **専**
(フォークリフト)
- 技能照査 (技能士補取得) **専**
- 家具技能士2級 **受**
(訓練修了後、受検可能)
- 木製建具技能士2級 **受**
(在校中、技能照査合格により学科試験免除、
訓練修了後、受検可能)

建 築 科 (短期課程 1年コース)

建築科では、木造建築物の加工技術には欠かせない器工具や木工機械の取り扱いをはじめ、模擬住宅の実習を通して軸組工法や内装・外装仕上げの施工技術を学びます。また、リフォーム工事等にも対応できる技能と知識の習得を目指します。あわせて2級建築士資格取得に必要な知識を学び、幅広く建築全般にわたる人材育成と就職をサポートします。



カリキュラム

- 軸組加工技術関係
規矩術、施工法、仕様積算、建築材料
- 設計、施工、工事管理関係
建築計画、建築構造、建築法規、構造力学
建築製図及びCAD製図、測量など
- 実技
器工具使用法、工作実習、模擬住宅建築実習
内装・外装実習など

主な就職先

- 建設業関連
建設会社、工務店
ハウスメーカー
寺社建築関連会社
- 内装・外装、リフォーム関連
- 設計・工事関連
建築設計及び工事管理事務所
- その他
木材関係会社（製材、加工会社）
建築関連販売業務、住宅営業など

関連資格

受 受験資格の取得、**専** 専門校で受験、**試** 試験対策の指導

- 建築大工技能検定 **受** **試**
(3級は在学中、2級は修了後、受験可能)
- 2級建築士、木造建築士 **受** **試**
(実務経験3年、中卒者は5年が必要)
- 2級建築施工管理技術検定 **試**
(訓練終了後、実務訓練1年短縮)
- 技能講習 **専**
(フォークリフト、移動式クレーン、玉掛け)
- 特別教育 **専**
(車両系建設機械)
- 刈払機作業安全衛生教育 **専**
- DIYアドバイザー
(実技試験免除)

住宅設備科 (短期課程1年コース)

住宅設備科は、ふだん何気なく使用している水道をはじめ、ガス・電気についての知識と技能を学科と実技の両面から習得します。

また、学科では関連する資格取得を積極的にサポートするとともに、実技では、配管加工などを通して考察・改善など問題解決能力を高め、設備関連企業で活躍出来る人材を育成します。

配管加工 (ねじ切り)



ガス溶接練習作品



電気工事実習



特別教育



カリキュラム

- 水道・空調設備
配管概論・配管施工法、冷暖房法
各種配管加工・修繕技術など
- ガス設備
液化石油ガス設備士講習 (理論・法令、施工方法)
- 電気設備
第二種電気工事士試験対策
エアコン、照明器具など取付実習
- 関連
ガス溶接・アーク溶接
小型車両系建設機械・フォークリフト
製図 (設備関連図面の作成、図面読み取り、CAD)
建築構造、リフォームなど

主な就職先

- 建設業関連
上下水道設備、ガス設備、空調設備
電気設備、溶接関連
- 設備管理業
病院・工場などのビル設備管理
- その他
建設資材販売関連、倉庫管理、流通業

関連資格

受 受験資格の取得、**専** 専門校で受験、**試** 試験対策の指導

- 液化石油ガス設備士講習 **専**
- 技能講習 **専**
(ガス溶接、フォークリフト、玉掛け、
移動式クレーン)
- 建築配管技能検定 **受**
(3級は在校中、2級は訓練修了後、受検可能)
- 特別教育 **専**
(アーク溶接、小型車両系建設機械
酸素欠乏等危険作業)
- 刈払機作業安全衛生教育 **専**
- 第二種電気工事士 **試**
- 危険物取扱者 (乙種4類) **試**
- 消防設備士 (乙種6類) **試**
- 2級管工事施工管理技術検定 **試**
(訓練終了後、実務経験1年短縮)

服飾ビジネス科 (短期課程1年コース)

服飾ビジネス科は、製図、縫製および動力ミシンの操作など被服の製作に必要な基本技能を習得します。また、色彩学、ファッションビジネス、販売では幅広い服飾ビジネスの世界で活躍するための専門的な知識を学習し、関連企業への就職を目指します。

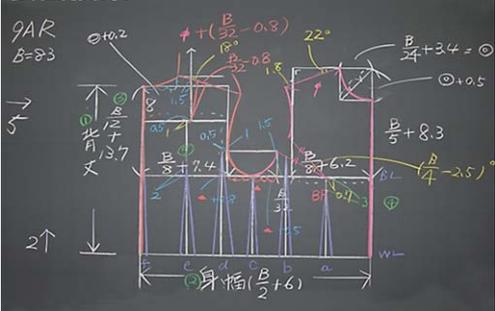
服飾ビジネス科教室



ボディ、動力ミシン



製図授業



色相環



カリキュラム

- 学科
被服概論、被服材料学
被服商品学、縫製知識
製図、ファッションビジネス
色彩学、ファッション販売
販売接遇など
- 実技
機械基本操作、縫製基本操作
製図実技、リフォーム実技
縫製実技、応用実技
服飾手芸など

主な就職先

- 縫製会社
工業用ミシンを扱えることにより、ミシンオペレータやパターンなどに関わる仕事として活躍します。自分の作った商品が市場で売られることに、やりがいを感じます。
- リフォーム関係 (リペア、リメイク)
洋服のサイズ直しや修理をはじめ、古着を現代風にアレンジするなど、ファッションセンスを磨くことで活躍できる仕事です。
- ファッション関係 (商品販売、ウェディングスタッフ、スタイリスト)
ファッションビジネス、販売知識、色彩感覚の学習により、様々な商品の組み合わせについて、顧客に提案する仕事です。

関連資格

受 受験資格の取得、**試** 試験対策の指導

- 2級婦人子供服製造技能検定 **受**
(修了後受検可能)
- 色彩検定 **試**
- ファッションビジネス能力検定 **試**
- ファッション販売能力検定 **試**

オフィスビジネス科 (短期課程1年コース)

オフィスビジネス科では、事務系職種への就職を目的に、一般事務、簿記会計、原価計算、税務会計、給与計算および計算実務などの科目を習得し、パソコン会計、O A 機器のパソコン操作を身につけます。在校中の各種資格検定を通し、技能習得の進捗を客観的に把握でき、就職への可能性を大きく広げることができます。

オフィスビジネス科実習室



訓練用 PC



簿記試験対策教材



各種試験合格証



カリキュラム

- 簿記会計
仕訳帳、総勘定元帳、補助簿、試算表、財務諸表
- 原価計算
実際、標準、直接
- 税務会計
法人税、消費税
- 計算実務
伝票集計、利息計算、利益率、給与計算
- 秘書実務
ビジネスマナー、接遇用語、秘書の役割と機能
- 実技
弥生会計、ワード、エクセル、パワーポイント
簿記会計実習、税務会計実習、計算実務実習など

主な就職先

- 一般事務、総務事務
電話・来客対応、資料作成、給与計算など、オフィスでの様々な業務に対応できる知識と技能を習得します。
- 経理事務
入出金の確認、預金管理、経費管理などの日常業務から、決算・財務諸表の作成、税務会計に至るまで、経理実務に必要な知識全般を学びます。
- 営業事務
電話対応、伝票処理、資料作成、顧客管理、注文受付、商品在庫管理、売上集計など、営業のサポートができる力を身につけます。
- 会計事務所
一般事務の業務はもちろん、税務や会計など専門性の高い知識を必要とされる業界で就職する知識を身につけます。

関連資格

専 専門校で受験、**試** 試験対策の指導

- コンピュータサービス技能評価試験**専**
ワープロ部門、表計算部門(2級・3級)
- 日商簿記検定・全経簿記検定(2級・3級)**試**
- 秘書検定(2級・3級)**試**
- 税務会計 法人税法、消費税法(2級・3級)**試**
- 日商電子会計実務検定(中級・初級)**試**

ビルメンテナンス科 (短期課程1年コース)

おおむね35歳以上の求職者の方を対象

ビルメンテナンス科では、高度化・複雑化する設備管理に対応できるよう、電気工事・電気設備・冷凍機・ボイラー・給排水設備・消防設備・PLC・室内環境測定等について、基礎的課題を通して現場で活用できる技能と知識を習得します。又、合格率100%を目標に各種関連国家資格の取得をサポートするとともに、県内外の設備管理現場の見学や現場担当者からの説明などにより業務の全体像を把握し、各種建築設備工事・点検業などの幅広い関連職種への就職を積極的に支援します。



高圧受変電設備実習



シーケンス制御実習



配管・消防設備実習



電気工事実習

カリキュラム

- 電気理論・工事
低圧・高圧電気に関する理論と技術、PLC実習、シーケンス制御、屋内配線、コンセント・電灯器具取付実習など
- 消防設備
消防設備と警報設備（自動火災報知設備、消火器、屋内消火栓設備等）の理論・点検、消防法
- 空調熱源設備
実習用冷凍機による理論と技術、空調設備、ボイラー、危険物取扱、エアコン取付実習、高圧ガス保安法など
- 建築物衛生法と建築物環境測定実習
- 配管施工実習
- 特別教育（低圧電気取扱、酸素欠乏危険作業）

主な就職先

- ビル設備管理関連
種々の関連資格を積極的に取得する事で多くの訓練生が県内外の設備管理の現場で活躍しています。
- 電気工事・電気設備保守関連
第二種電気工事士としてだけでなく、第一種電気工事士試験に合格することで、就職先で幅広く活躍できる能力を習得します。
- 水処理施設関連
- 空調設備・配管工事関連
- 消防設備工事・点検関連

関連資格

受 受験資格の取得、**専** 専門校で受験、**試** 試験対策の指導

- 第一種電気工事士 **試**
(免許交付には実務経験が必要)
- 第二種電気工事士 **試**
- 消防設備士(乙種1・4・6・7類) **試**
- 第三種冷凍機械責任者 **試**
- 危険物取扱者(乙種4類) **試**
- 二級ボイラー技士 **試**
- 特別教育 **専**
(低圧電気取扱、酸素欠乏危険作業)
- 刈払機作業安全衛生教育 **専**
- 2級ビル設備管理技能検定 **受**
(訓練修了後、受検可能)

造園技術科 (短期課程1年コース)

造園技術科では、庭園設計と作庭技術、樹木の植栽や剪定技術、その他植物の保護管理等の基礎的知識と技能の習得を目指します。剪定技術や竹垣製作に向けた訓練では、校外実習を組み入れています。また、造園作業に必要な機械操作等の資格を取得します。修了前には、校庭で庭園製作に取り組みます。



カリキュラム

- 造園概論
造園の歴史と様式、公園概論
- 植物樹木概論
植物の形態と生理、植物の生態と遷移、樹木診断
樹木特性、植物病虫害防除、土壌と肥料
- 庭園管理、庭園土木
剪定技術、増殖技術（挿し木、接ぎ木等）
植栽技術、移植技術、コンクリートの特性
- 庭園材料
造園道具類、樹木・花卉、日本庭園材料
- 作庭技術
庭園設計、茶道・華道
- 剪定実習
剪定、増殖、移植
- 庭園管理実習
病虫害防除、エクステリアガーデニング
芝生管理、樹木診断
- 庭園土木実習
測量、竹垣、石組・石積、建設機械等操作
- 作庭実習
造園CAD、庭園設計施工、2級技能検定
- 校外実習
剪定、竹垣改修、門松製作、庭園見学

主な就職先

- 造園会社
剪定、外構工事関連
- 官公庁（学校含む）、ホテルなど
庭園管理

関連資格

- 受** 受験資格の取得、**専** 専門校で受験、**試** 試験対策の指導
- 2級造園技能検定 **受 試**
(訓練修了後、受検可能)
- 技能講習 **専**
(フォークリフト、玉掛け、移動式クレーン)
- 特別教育 **専**
(小型車両系建設機械、チェーンソー作業従事者)
- 刈払機作業安全衛生教育 **専**
- 1、2級造園施工管理技士 **試**

応募要領 販売実務科（知的障害のある方を対象とした科）

1 応募、選考などの日程について（平成31年1月～3月）

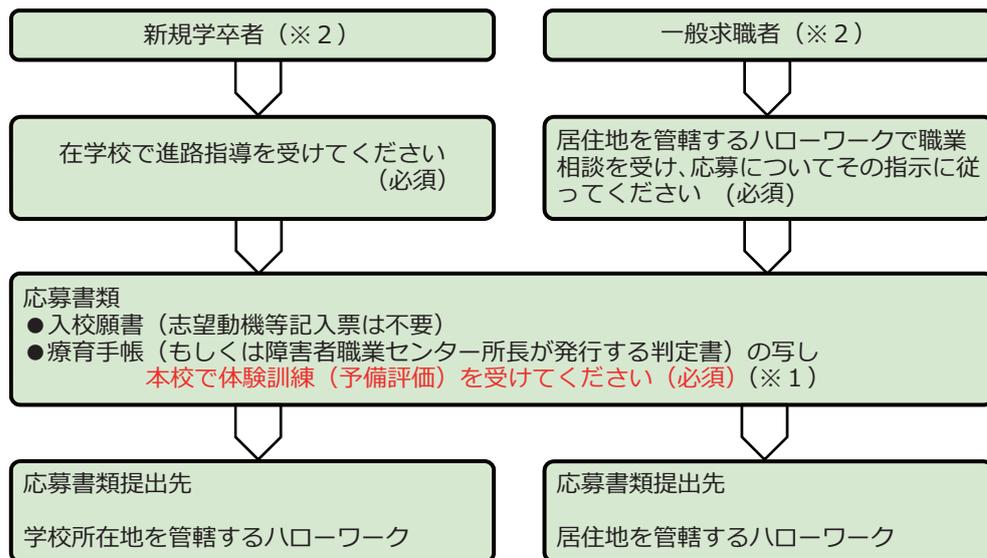
	第1回募集	第2回募集（注）	第3回募集（注）
応募書類受付期間	1月8日(火) } 1月23日(水)	2月8日(金) } 2月19日(火)	2月27日(水) } 3月6日(水)
体験訓練（予備評価）（※1）	1月25日(金)まで	2月19日(火)まで	3月8日(金)まで
作業試験・適性検査	1月31日(木)	2月21日(木)	3月11日(月)
面接	1月31日(木)または 2月1日(金)		
合格発表	2月8日(金)	2月27日(水)	3月14日(木)
入校手続き	2月15日(金)	3月4日(月)	3月19日(火)

注：第1回募集以降、定員の充足状況により、第2回・第3回募集を実施しない場合もあります。
募集の有無についての最新の情報は、本校ホームページでご確認ください。

2 応募要件（下記5項目をすべて満たすこと）

- ・「療育手帳」もしくは「障害者職業センター所長が発行する判定書」を所持している方
- ・自力通学が可能な方
- ・身辺処理が確立されている方
- ・中学校を卒業されている方
- ・本校で体験訓練（予備評価）（※1）を2日以上受けた方

3 応募の流れ



※1：体験訓練（予備評価）は、入校を希望される方に本校でどのような職業訓練をするのか理解を深めていただくとともに、予備評価として訓練適応力を見るために実施します。入校を希望される方は必ず**2日以上**の体験訓練を受けてください。体験訓練（予備評価）は、事前に希望日を本校に連絡してください。

※2：1 ページ、「2 入校の対象となる方（3）」を参照してください。

4 施設見学および相談について

随時行っています。入校を検討されている方は事前に本校にご連絡ください。

5 入校選考について

体験訓練（予備評価）、作業試験・適性検査、および、面接による総合評価で合否を決定します。なお、応募者数が募集定員より少ない場合でも、総合評価で不合格になることがあります。

(1) 作業試験・適性検査と面接の開催日時

	第1回募集	第2回募集	第3回募集
作業試験・適性検査日時	1月31日(木) 午後1時00分～2時30分 (受付：12時30分～)	2月21日(木) 午後1時00分～2時30分 (受付：12時30分～)	3月11日(月) 午後1時00分～2時30分 (受付：12時30分～)
面接日時	1月31日(木)または 2月1日(金) 面接日と時間については、事前 にお伝えします。	同日、作業試験・適性検査 終了後続けて面接を行います。	同日、作業試験・適性検査 終了後続けて面接を行います。

(2) 入校選考日の注意事項など

- 各回募集とも入校選考会場は本校です（裏表紙の地図をご確認ください）。
- 入校選考日の持ち物は、入校願書受付票、筆記用具、上履き、82円分の切手（合否通知送付用）です。
- 遅刻・欠席は失格となります。
- 自動車、バイクなどで入校選考会場に乗り入れることを禁止します。公共交通機関を利用してください。
- 入校選考を辞退される方は、必ず入校選考日の前日までに本校へ電話などで連絡してください。

6 合格発表について

- 合格発表当日、合否通知書を本人宛に郵送（郵便ポストに投函）します。
- 合格発表当日の午後1時に、本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。
（これは補助的な公表手段です。必ず上記郵送による合否通知書で確認願います。）
- 新規学卒者の合否は、在学する学校にも通知します。
- 一般求職者の合否は、管轄のハローワークにも通知します。
- 電話による合否の問い合わせには、一切応じません。

7 入校手続きについて

- 入校手続き日に、職業訓練に必要な実費（2ページ「5 必要経費について」参照）として、自己負担金40,000円を一括納付してください。なお、訓練期間中、他に資格試験・講習会申し込みなどの手続き費用が追加で必要になる場合があります。
- 一般求職者には、合格通知書送付時に本校所定の健康診断証明書の用紙を同封します。医療機関で受診のうえ、入校手続き日に提出してください。
- 入校手続き日に作業服の採寸を行います。

販売実務科 (短期課程1年コース)

販売実務科では、知的障害のある就労希望者を対象に、職業生活の基礎能力をつけながら、個々の能力・適性に合った職業訓練を実施します。

また、カウンセリングや実習先の選定など、自分に合った職業に就くためのサポートを行います。

販売物流 (はんばいぶつりゅう)



福祉・生活 (ふくし・せいかつ)



清掃 (せいそう)



パソコン



カリキュラム

- 職業生活に必要な力
社会生活 (コミュニケーション・身だしなみ・マナー)
- 実践的な力
 - ・販売物流 (販売や物流業界の作業)
 - ・店舗品出し、袋づめ、計量、値付けなど
 - ・清掃 (清掃業界で必要となる作業)
 - ・基本的清掃用具の取り扱い、清掃方法など
 - ・オフィスワーク (基本的事務作業)
 - ・文書の仕分け、ファイリング、伝票記入
 - ・発送業務など
 - ・パソコン (ワード・エクセルの基本操作)
 - ・ワークトレーニング (製造業での作業)
 - ・福祉・生活 (介護補助の作業)
 - ・ベッドメイキング、居室清掃、洗濯
 - ・食事の配膳、食器洗い、接客など
- 職業適性・就職決定
 - ・企業実習

主な就職先

- 販売業
- 物流業
- 清掃業
- 事務業
- 福祉
- ホテル業
- サービス業

関連資格

- 専 専門校で受験
- パソコン検定 **専**
(ワープロ、表計算：日本情報処理検定協会)
- 刈払機作業安全衛生教育 **専**
- 技能講習
(フォークリフト) **専**

高等技術専門校修了生の活動紹介

起業ネットワーク（家具工芸科修了生）

奈良県内を中心に起業・独立した方たちを、奈良県がネットワーク化し支援

主な活動 ● 家具工房作家による家具、小物展示会

奈良のいどころ良品販売会	平成 30 年 4 月 13～16 日	イオンモール高の原
つなぐ木工展—家具・小物— 展示即売会	平成 30 年 10 月 27～28 日	橿原公苑第 2 体育館
～一冊の本と私の部屋～展	平成 30 年 11 月 10～11 日	奈良まほろば館（東京日本橋）
	平成 31 年 3 月 19～31 日	図書情報館

- 技術講習会（家具製作技術向上のための勉強会）
- 先輩起業家を講師に招いた講演会、パネルディスカッション
- PR 冊子の作成

緑友会（造園技術科修了生）

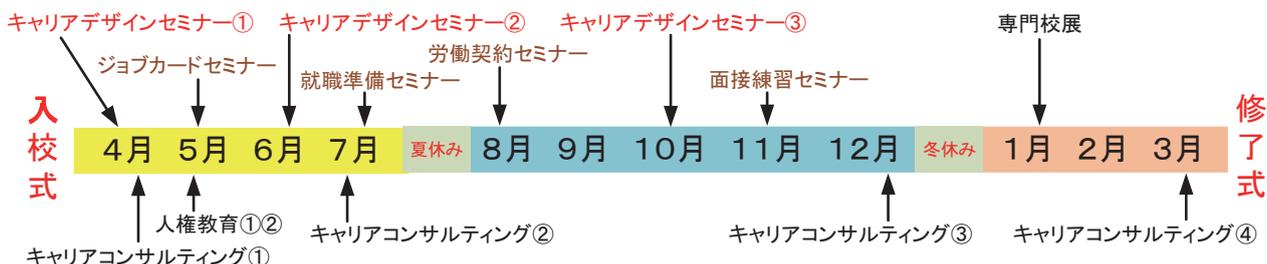
緑を愛し、緑が縁で、気の合った友が集まって平成 14 年 11 月に設立（会員数 218 名）

《平成 27 年 11 月 「第 6 回あしたのなら表彰」受賞》

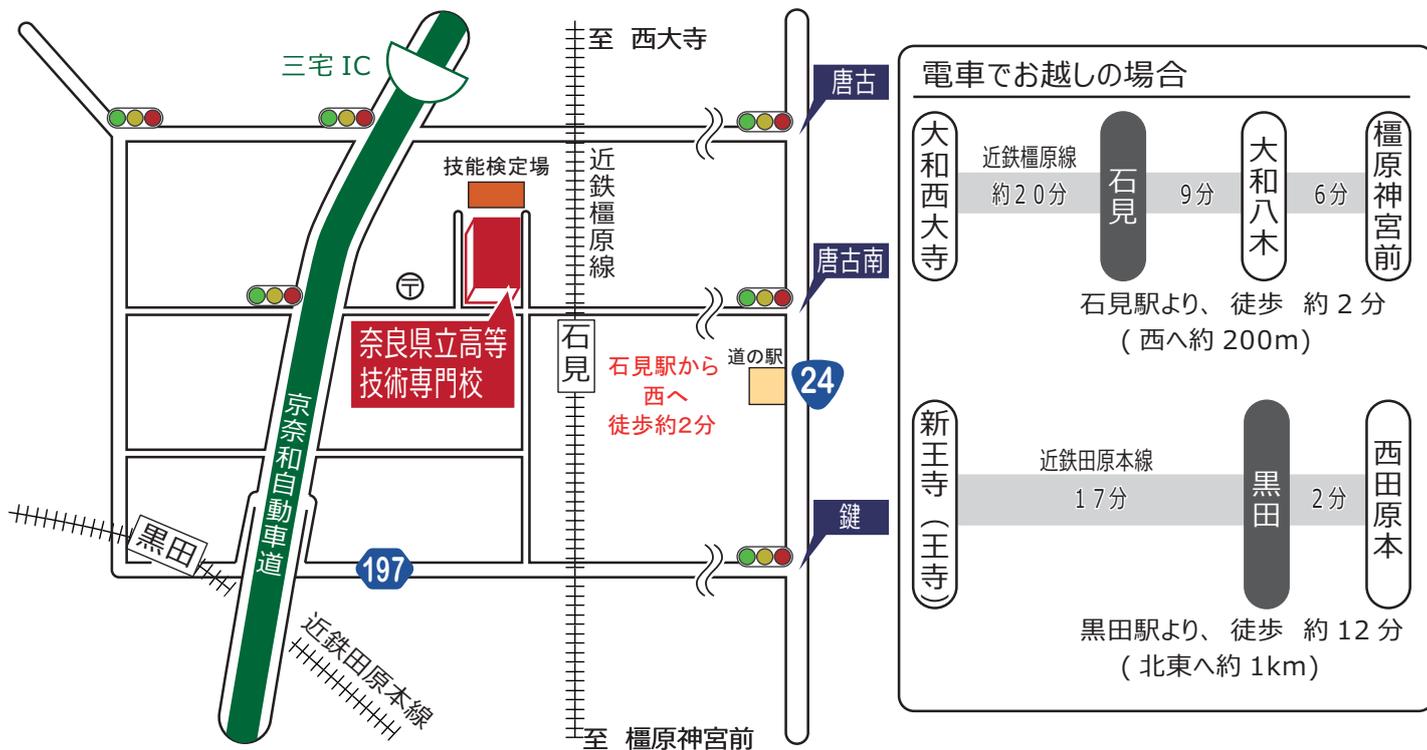
- 会の目的**
- 造園技術科で習得した技術と知識や経験を生かし、歴史ある奈良を中心に景観の保全に貢献する（Volunteer）
 - 会員相互の厚誼を深め、豊かな生活の実現を目指す（Friendship）
 - 会員の造園技術の向上、就業機会の増加を図る（Technique）

- 主な活動**
- 平城宮跡（東院庭園ほか）、万葉の森、県立医大、羅城門跡公園、油阪公園等での景観保全活動
 - 天理、西の京で古都法買入地景観形成事業に参加して里地里山づくり
 - 剪定技術研修会、刃砥ぎ研修会の開催

セミナーや行事



アクセスマップ



お問い合わせ・ご相談



電話 0745-44-0565



奈良県立高等技術専門学校

〒636-0212 奈良県磯城郡三宅町石見 440

FAX: 0745-44-1057

URL: <http://www.pref.nara.jp/1755.htm>

応募に関するお問い合わせは、下記の機関でも承っています

機関名	電話番号	管轄区域
奈良県雇用政策課	0742-27-8834	
ハローワーク奈良	0742-36-1601	奈良市、天理市、生駒市、山辺郡
ハローワーク大和高田	0745-52-5801	大和高田市、橿原市、御所市、香芝市、葛城市、高市郡、北葛城郡
ハローワーク桜井	0744-45-0112	桜井市、宇陀市、磯城郡、宇陀郡、吉野郡のうち東吉野村
ハローワーク下市	0747-52-3867	五條市、吉野郡(東吉野村を除く)
ハローワーク大和郡山	0743-52-4355	大和郡山市、生駒郡